

CSRトピックス

琵琶湖の環境と生態系の保全を願って

当行は、環境を主軸とするCSR（企業の社会的責任）の追求を「銀行経営の要諦」と位置づけ、「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、経営に環境を取り込んだ「環境経営」を展開しています。（CSRの取り組みについては別途発行する「CSRレポート未来（あした）をみつめて。」をあわせてご覧ください。）

「第8回日本環境経営大賞・環境経営パール大賞」を受賞

平成22年3月、「第8回日本環境経営大賞（主催：日本環境経営大賞表彰委員会、三重県）」において、「環境経営パール大賞」（環境経営部門の最優秀賞）を受賞しました。

当行は第1回のパール大賞（平成15年6月）を受賞しており、さまざまな環境対応型金融商品・サービスの提供により、金融機関としての役割を通じて地球環境保全に貢献してきたこと、地域と連携しながら「環境金融」を実践していることなど、「成果の積み上げが極めて顕著である」として、2度目の受賞となりました。



平成22年6月1日受賞式

「第13回環境コミュニケーション大賞・環境金融報告特別優秀賞」を受賞

当行の「CSRレポート2009未来（あした）をみつめて。」が、環境省と財団法人地球・人間環境フォーラムが主催する「第13回環境コミュニケーション大賞」で環境報告書部門の「環境金融報告特別優秀賞」に選ばれました。



平成22年3月、東京で表彰式が行われ、「『お金の流れで地球環境を守る』という考え方とトップコミットメントは明確かつ的確であり、金融業としての想いが込められている」との講評をいただきました。

昨年の「奨励賞」に引き続いて2度目の受賞となりました。

学校ビオトープづくりをお手伝い

生物多様性保全の重要性を啓発、啓蒙する活動の一環として、環境対応型金融商品「エコプラス定期」（P20参照）の拠出金で、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりをお手伝いしています。

平成21年度に寄贈を行った小学校では、琵琶湖で採取したメダカやフナを放流するとともに、ヨシやマコモ、ガマなどの水生植物を配したビオトープを整備されるなど、各小学校の特色を活かした環境学習を実践されています。

平成22年6月には大津市立膳所小学校、東近江市立八日市南小学校、竜王町立竜王小学校の3校へ150万円を寄贈、平成18年度の出組開始からの累計は16校、総額754万円となりました。

〈平成21年度 ビオトープ寄贈先〉



近江八幡市立北里小学校



東近江市立御園小学校

ニゴロブナ累計9万匹を放流

平成22年1月に、草津市の烏丸半島で、役職員やその家族ら約300人が参加し、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ」の放流を行いました。

これは、お客さまが当行の環境対応型金融商品である「カーボンニュートラルローン 未来よし」(P16参照)の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入し、削減された温室効果ガスの量に応じて、「ニゴロブナ放流事業」に資金を拠出するものです。平成19年度から3年間の累計は、拠出金で360万円、放流は9万匹となりました。

ニゴロブナの放流・増殖の資金を拠出することにより、琵琶湖の生態系を保全するとともに「ふなずし」などの湖国の食文化を守り、地産地消と食育につながる取り組みとして展開しています。



当行の役職員がニゴロブナを放流

ヨシ刈りボランティアを実施

当行では、平成11年より毎年、琵琶湖の水質保全や魚の産卵場所として欠かせないヨシ群落を守るため、ヨシ刈りボランティアを実施しています。平成21年度は2回開催、合計約800人が参加(P3参照)しました。

なお、刈り取ったヨシはヨシ紙に加工のうえ、当行役職員の名刺として活用しています。



ヨシ刈りボランティア



ヨシ紙名刺

ボランティアで外来魚を駆除

琵琶湖の豊かな生態系を取り戻す取り組みの一環として「外来魚駆除釣りボランティア」を、平成22年5月22日の「国際生物多様性の日」に草津市志那中湖岸緑地で初めて実施しました。

琵琶湖は、多くの固有種が生息する世界でも有数の古代湖で、貴重で豊かな生態系が育まれてきました。近年では岸辺の魚類のほとんどをブルーギルやブラックバスの外来魚が占めるようになり、外来魚を減らし、固有種の生態系を守る取り組みが求められています。

当日はボランティア180名が1,530匹、61.3kgの外来魚を駆除。釣り上げた外来魚は障害福祉サービス事業所で魚粉等に加工した後、野菜の堆肥として有効利用されます。



歓声とともに釣り上げました

COP10パートナーシップ事業に認定

当行が琵琶湖の環境と生態系の保全を願って行っているPLB格付BD(P16参照)やニゴロブナ放流とヨシ刈りボランティア、外来魚駆除釣りボランティアが滋賀県ならではの生物多様性保全の取り組みであるとして、平成22年10月に名古屋で開催される「COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)」のパートナーシップ事業に認定されました。

パートナーシップ事業

